

7. 教職支援の活動（任意の記載事項）

(1) 公立学校を希望する学生を支援するため、充実したプログラムを準備している。教職教養、一般教養、専門教養の筆記試験対策、面接試験対策等を実施しており、指導は元校長など学校現場の経験者が行っている。

なお、基礎学力を充実させるため、1・2年次ではスタートアップ講座も開設している。

2016(H28)年度 公立学校教員・保育士採用試験 合格者の状況

<小・中・高・特支>

校種	2016(H28)合格自治体
小学校	兵庫県(14) 神戸市(7) 大阪府(9) 大阪市(1) 豊能地区(2) 和歌山県(1) 神奈川県(1) 横浜市(9) 川崎市(9) 岡山県(1) 広島県(2) 島根県(1) 香川県(2)
中・高	兵庫県(4)
特別支援学校	兵庫県(3) 神戸市(2)
計	64

《過去2ヶ年実績》

2015(H27)	2014(H26)
59	55

<幼・保>

校種	2016(H28)合格自治体
幼稚園	神戸市(1) 宝塚市(1) 三田市(1)
幼・保	姫路市(2) 高砂市(3) 赤穂市(1) 高松市(1) 西条市(1)
保育所(園)	神戸市(9) 尼崎市(1) 伊丹市(1) 宝塚市(1) 川西市(1) 鳥取市(1)
こども園	加東市(1)
計	26

《過去2ヶ年実績》

2015(H27)	2014(H26)
24	29

《過去2ヶ年実績》

	2016(H28)
合計	90

2015(H27)	2014(H26)
83	84

(2) 学生時代に多様な経験をさせるために、学校支援ボランティアなどのボランティア活動を推奨しており、現在19の教育委員会と学校ボランティアの連携協定を締結している。多数の学生が、学校での授業や学級経営の補助、特別支援教育の補助、自然学校や神戸市ジュニアリーダーなど野外活動等に参加し、教職への理解や子ども支援の方法などを学校現場で学んでいる。さらに大学内に設置された子育て支援センター「すくすく」では、幼稚園課程を履修する学生が子育て支援のプログラムに参加し、遊びを通して保育を学んでいる。平成20年1月の開設以来、約50,800人が利用し、学生ボランティアは延べ約8,340人が活動に参加している。(2017(H29)年3月末)